

2024 年 4 月 5 日

The Emerging Markets Weekly

方向感が出にくく、アジア通貨の軟調は継続

新興国市場:先週末 3 月 29 日はグッドフライデーで多くの市場が休場、アジア時間も欧米時間も商い薄のなか、新興国通貨の動きも概ね小幅にとどまった。米 2 月個人消費支出は市場予想通りとなり一時ドルが軟化するも、パウエル FRB 議長の発言を受けて値を戻した。MXN と ZAR が上昇。週初 4 月 1 日、アジア時間は材料に欠き、大半が小幅な値動き。IDR の下げが目立った。欧米時間、米 3 月 ISM 製造業景気指数が市場予想を上振れ、米金利が急騰。新興国通貨は反落した。BRL や MXN が売られた。2 日のアジア時間の新興国通貨は概ね下落。前日の米経済指標の良好な結果が重しとなった。THB と MYR が下げをけん引。欧米時間、米金利上昇にも拘わらずドル安圧力が強かった。その後、米経済指標のまちまちな結果を受けて米金利が低下。商品市況の堅調も支えとなり新興国通貨は買われた。ZAR と TRY が上昇した。3 日アジア時間は全体として動意に欠く展開。VND の下げが目立った。欧米時間、米 3 月 ISM 非製造業景気指数が市場予想を下振れたことに加え、パウエル FRB 議長の発言を受けてドル安となり、新興国通貨は上昇。ZAR と BRL が堅調。4 日のアジア時間、中国と香港市場が休場の中で狭いレンジで推移した。MYR と VND が小幅に上昇。欧米時間、中東情勢への懸念が高まり、米株が急落。新興国通貨も上げ幅を縮小した。BRL や MXN、ZAR が弱含んだ。

アジア:3 月 29 日公表のベトナム 1~3 月期実質 GDP 成長率は前年比+5.66%と市場予想(同+6.40%)を下回った。4 月 1 日発表のインドネシア 3 月消費者物価指数(CPI)は前年比+3.05%と前月から加速し、市場予想を上振れた。ラマダン(断食期間)の需要増加が寄与し、2023 年 8 月以来の高水準となった。2 日公表の韓国 3 月 CPI は前年比+3.1%と前月から横ばい推移となり、市場予想を上回った。タイの憲法裁判所は 3 日、民主派の最大野党「前進党」の解党処分のは是非を審議すると発表した。前進党は王室への侮辱を罰する不敬罪の改正の選挙公約を巡り違憲判決を受け、選挙委員会へ解党処分を求めている。フィリピン国家経済開発庁は 4 日、2024 年の実質 GDP 成長率目標を前年比+6.0~7.0%と従来の同+6.5~7.5%から下方修正した。

中東欧・アフリカ:トルコの統一地方選挙が 3 月 31 日に即日開票されエルドアン大統領が率いる与党・公正発展党(AKP)の大敗という結果となった。注目されていたイスタンブール市長選では、最大野党の共和人民党(CHP)所属で現職のイマモール市長が勝利。TRY はこの結果を受けて一時上昇するも、押し戻された。3 日発表のトルコ 3 月 CPI は前年比+68.50%と市場予想を下振れたが、前月からは加速した。

ラテンアメリカ:報道によるとブラジル中央銀行(BCB)は 2 日、10 億ドルの為替スワップによるドル売り BRL 買い為替介入を実施した。為替介入は 2022 年以来となる。チリペソ(CLP)は銅価格の堅調が追い風となり週間で+4.0%上昇。

金融市場部
マーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

長谷川 久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

市場概観(トルコ)

3 月 31 日投開票の地方選ではエルドアン大統領の与党が敗北

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島 将行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

2023 年 6 月以降のオーソドックスな金融・財政政策が維持されるかが焦点に

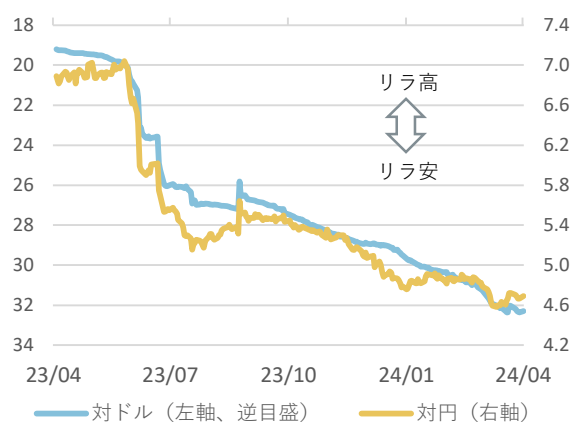
3 月 31 日に投開票が行われた地方選挙では、エルドアン大統領が率いる与党・公正発展党 (AKP) の大敗という結果となった。4 月 1 日の取引開始後、TRY はしばらく弱含む動きとなったが、その後、32.4 前後から 31.7 まで一転して反発する場面もあった。しかし、その後は再び TRY 安に押し戻されている(図表 1)。

地方選挙で最大の焦点となっていたイスタンブール市長選では、最大野党の共和人民党 (CHP) 所属で現職のイマモール市長が勝利した(図表 2)。世論調査結果では 1~3%ポイントの接戦を示すものが多かったが、実際の結果は 10%ポイント以上の大差がついた。アンカラやイズミルといった他の大都市でも CHP 所属の現職が勝利している。

全国でも、開票率 99.99%の時点で CHP の得票率が 37.76%とエルドアン大統領率いる与党 AKP の 35.48%を上回っている(図表 3)。AKP は全国 81 市長選のうち、24 の都市で勝利したものの、2019 年の地方選挙での 39 から大きく減らしている。政策金利の大幅引き上げにも関わらず高止まりするインフレ、賃金や年金がインフレの加速に追いついていない状況が、トルコの有権者の与党 AKP 離れを引き起こした可能性があるだろう(図表 4)。

今後の展開について、大手格付会社 Fitch が選挙直前の 3 月 8 日にトルコの外貨建て長期債務格付けを「B」から「B+」に引き上げ、格付け見通しを「ポジティブ(強含み)」とするなど、地方選挙の結果にかかわらず、2023 年 6 月以降のオーソドックスな金融・財政政策からの再転換は見込まれないという見方もある(Fitch の格付けは日本では無登録格付け)。トルコが海外からの投資を切に必要としていることを考慮すれば、こうした見方も一理あるだろう。決選投票にもつれこんだ 2023 年 5 月の大統領選と、2024 年 3 月の地方選挙の大敗を教訓にして、2028 年に控える次期大統領選挙に向け、トルコ当局がよりインフレ抑制に注力するようになる可能性はある。ただし、地方選挙の結果が歴史的な大敗だっただけに、何かしらの経済金融政策の見直しの動きが出てくる可能性も排除できず、当面はエルドアン大統領をはじめ与党関係者からの発言を注意深く見ていきたい。

図表 1: TRY 相場動向



出所: Bloomberg、みずほ銀行

図表 2: 市長選の得票率

	イマモール現市長 共和人民党（CHP）	クルム前環境 都市整備大臣（AKP）
ORC Arastirma	40.8	40.2
MetroPoll	43.5	40.2
ALF	37.8	36.9
KONDA	38.2	32.2
Artibir	38.2	35.7
選挙結果	51.14	39.59

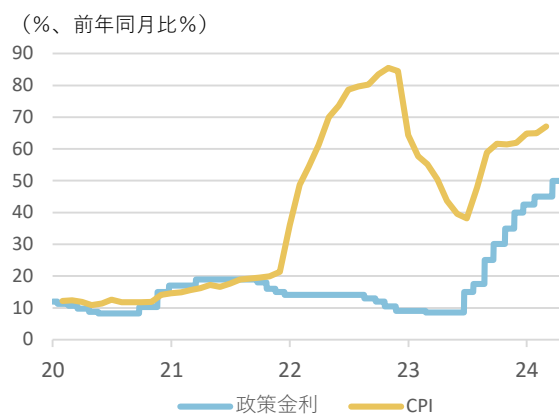
出所: 各種報道、みずほ銀行

図表 3: 地方選挙 全国の得票率（開票率 99.99%時点）

CHP（最大野党）	37.76%
AKP（与党）	35.48%
Yeniden Refah	6.19%
DEM PARTI	5.70%
MHP	4.99%
iyi Parti	3.77%
Buyuk Birilik	0.44%

出所: 国営アナトリア通信、みずほ銀行

図表 4: 政策金利と消費者物価指数



出所: Bloomberg、みずほ銀行

市場概観(メキシコ)

海外労働者送金について～米労働市場の分析とともに～

金融市場部
長谷川 久悟
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

本欄や『エマージングマーケットマンスリー』の予測に反し、MXN の堅調推移が長引いている。年初来で見ても、他の EM 通貨とは一線を画すパフォーマンスとなっている(図表 1)。もちろん、その背景としては、メキシコ中央銀行(Banxico)による高金利政策の長期化、資源価格の上昇基調、投機筋による MXN のロングポジション積み増し、ニアショアリングの流れ、米国からの労働者送金の増加、などが挙げられる。本欄では、今まで詳細を説明してこなかった労働者送金につき、米労働市場の分析も踏まえ、筆者の考えを述べたい。

まず、メキシコ経済全体にとっては、海外労働者からの送金の規模は、GDP 対比では 4%程度となっており、経済全体へのインパクトとしてはそこまで大きくはない。もっとも、為替の資金フローとしては、無視できる規模では全くない。経常収支では、海外労働者送金は「第二次所得収支」に分類されるが、その黒字規模が非常に大きいことは図表 2 を見れば一目瞭然だろう。

そして、海外労働者送金の送金元は 95%以上が、言わずもがな米国となっており、米国の労働市場動向が送金額を大きく左右することとなる。実際、米国の求人情件数とメキシコの海外労働者送金には一定の相関関係が確認できる(図表 3、4)。米国内でさらに細かく州別にみていくと、カリフォルニアからの送金額が大幅に増加し、シェアを大きく伸ばしている(図表 5)。メキシコと国境を接しアクセスが良いこと、経済規模が大きいことから、特段違和感はない。

とはいえ、米労働市場も一時期ほどの強さはないとの評価が一般的である中、アメリカからの労働者送金が失速しないのはなぜなのか。これを分析すべく、メキシコ人移民が従事するセクターを特定し、労働需給のひっ迫などの比較を試みた。Maison Law Immigration Lawyers が、「Los Angeles' Most Common Jobs For Mexican Immigrants」と題し、ロサンゼルス(カルフォルニアの代表的な都市)におけるメキシコ人移民の労働セクターについて分析を行っている(2022 年データに基づく)。それによれば、「Educational services, and health care and social assistance」で 17.1% (メキシコ人移民全体に占めるシェア)、「Arts, entertainment, and recreation, and accommodation and food services」で 13.9%となっている。それぞれ、求人率が 7.2 倍、6.4 倍となっており、全体の 5.3 倍よりも人手不足な状態である(それぞれ 2 月時点)。これらのデータをもとに、加重平均を用い、「メキシコ人移民セクター」の求人率を試算したのが図表 6 である。パンデミック以降、全体の求人率よりも常に高い状態が続いてきたことがわかる。即ち、メキシコ人移民が従事するセクターは人手不足の状況がより深刻であり、より採用可能性が高く(解雇可能性が低く)、賃金も落ちにくいということだろう。ヒスパニック系の失業率も、そこまで高まっていない(図表 7)。

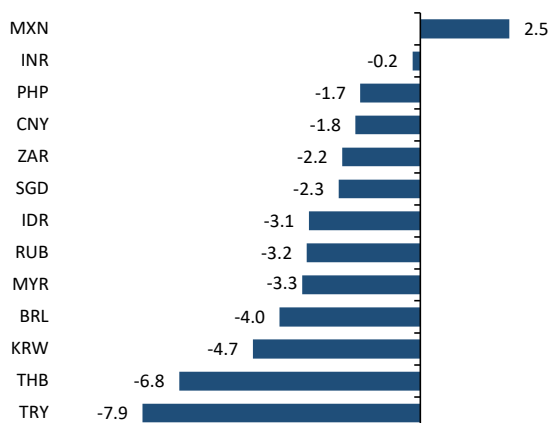
こうした状況は、早期に大きく変わる見込みはないだろう。パンデミック初期のレイオフ以降、米労働市場では雇用のミスマッチが放置されたままだ。早期退職に伴う引退はいまだ継続しており、実際に 55 歳以上の労働参加率は全く回復していない。ブライムエイジ(25～54 歳)の労働参加率は、パンデミック前をすでに回復しているのにも関わらず、である。さらに、大規模なレイオフを経験した労働者が、より高スキルな仕事を求めるようになっているといった指摘も聞かれている。ロイターによれば、米労

働省が公表する「職業別雇用・賃金統計年次報告書」でも、経営管理や金融といった業種で就業人口が増加した一方で、セールスやパーソナルケアなどの労働集約的な業種で減少したことが報告されている。これらのミスマッチの穴埋めをしているのが、メキシコ人を含めた移民である可能性が高く、この流れが止まると見通せる根拠はない。

一番のリスクシナリオとして蓋然性が高いのは、米大統領選でトランプ氏が再選し、メキシコ人を含めた移民に非常に厳しい措置をとる可能性だろう(図表 8)。在職時に、メキシコ国境への壁の建設を実行したことは記憶に新しい。バイデン氏に関しても、移民政策を失策と評価する声が非常に多いことから、特に不法移民に関しては規制強化を表明している。さらに、メキシコ国境における壁建設に関しても、昨年 10 月には、一転して再開の承認を行っている。2 月末には、両氏がテキサス州を訪問したが、いずれも移民対策を声高に叫んでいる。もちろん、トランプ氏が再選したほうが、移民対策がより厳格化されることは間違いないが、仮にバイデン氏であったとしても現状よりは規制を強化する方向に動きそうだ。

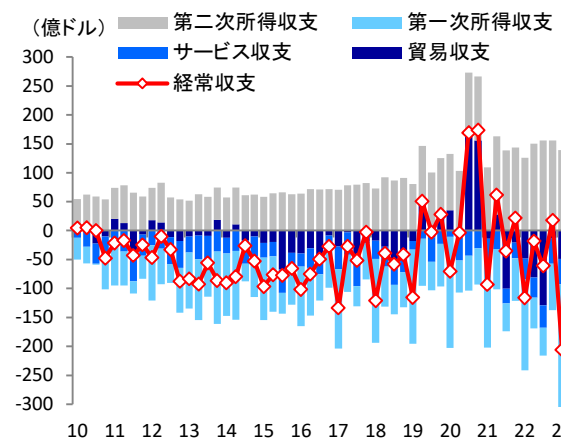
現状、大統領選挙の動向が重要であることには変わりがないが、メキシコ人移民が従事するセクターでは人手不足が続いており、この流れは当分続きそうだ。即ち、米国からの労働者送金も、大きく失速する可能性は低いだろう。もっとも、米労働市場全体としての軟化の影響は回避できず、海外労働者送金は今後緩やかに減少基調になると考えている。こうした中、海外労働者送金増加に伴う MXN 高圧力も、徐々に弱まるだろう。

図表 1: 年初来の騰落率(対ドル、%、4 月 2 日時点)

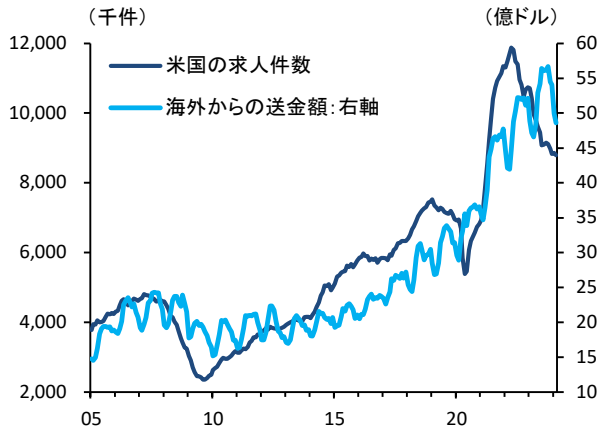


出所: Bloomberg、みずほ銀行

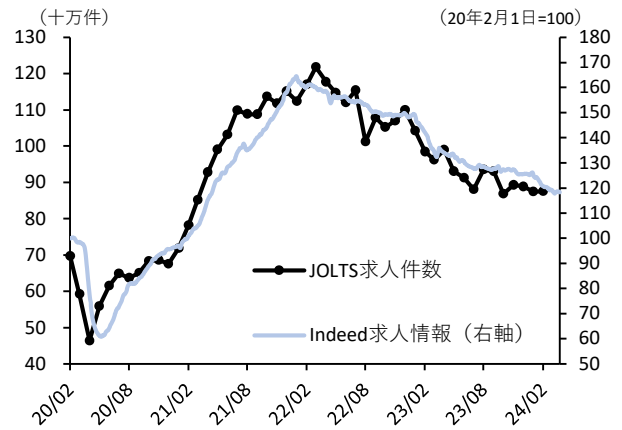
図表 2: メキシコ経常収支の推移



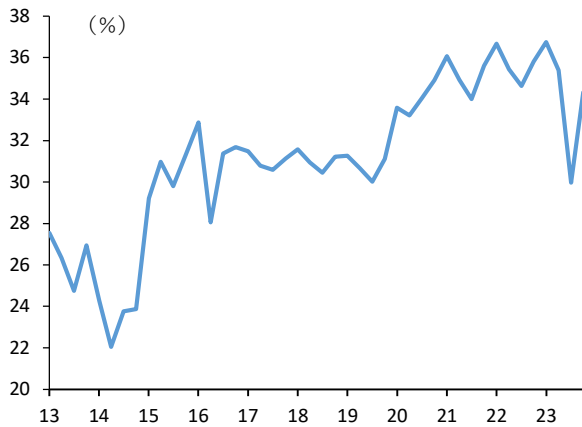
出所: CEIC、みずほ銀行

図表 3: 米 JOLT 求人数とメキシコの海外労働者送金額


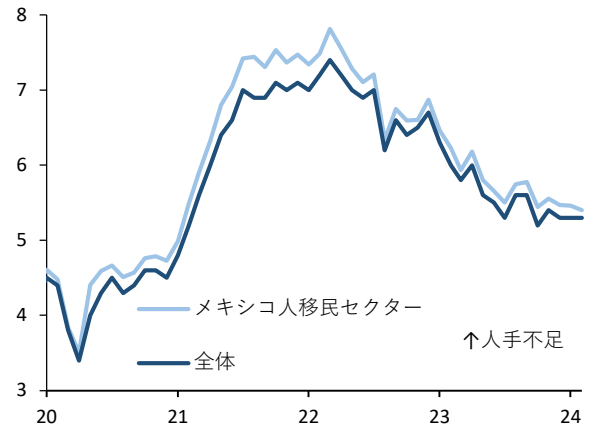
出所: Bloomberg、みずほ銀行 ※3 か月移動平均

図表 4: 米国の求人情数動向


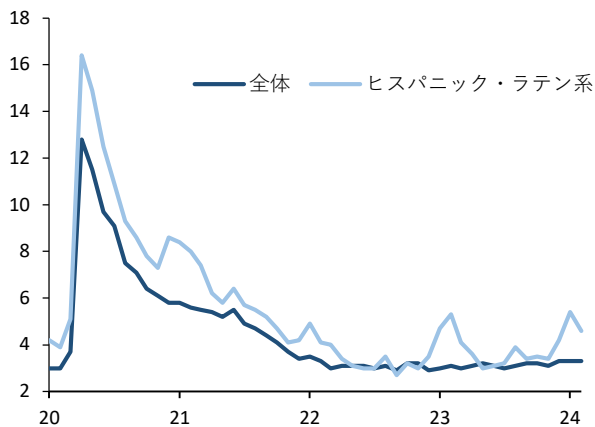
出所: Indeed、Macrobond、みずほ銀行

図表 5: 米国からの送金額のうちカルフォルニアが占める割合


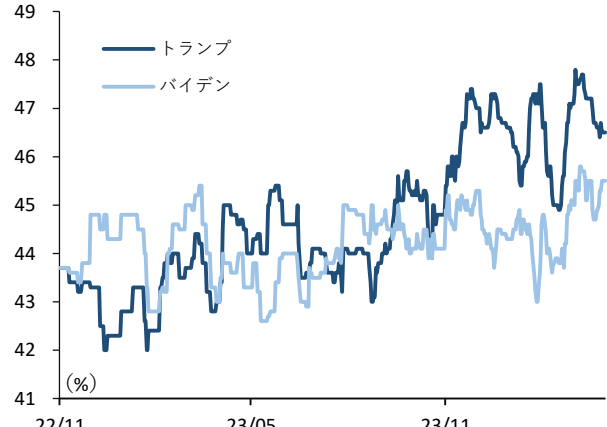
出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 6: 米国の求人率（倍）


出所: Maison Law Immigration Lawyers、Macrobond、みずほ銀行

図表 7: 米失業率(%)


出所: Macrobond、みずほ銀行

図表 8: 米 2024 年大統領選挙の支持率


出所: Real Clear Politics、Bloomberg、みずほ銀行

市場概観(新興国)

財部門のデスインフレは順調

金融市場部
長谷川 久悟

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数(PMI)によれば、3 月製造業 PMI は 50.6 と 2 月(50.3)から上昇、前月に続き中立水準(=50)超えを維持した。先進国(49.3→49.3)は構成項目ごとにまちまちで、18 か月連続で中立水準割れを記録。片や、新興国(51.5→52.0)は新規受注や生産を中心に上昇し、14 か月連続で中立水準超えを維持した(図表 1、2)。また、グローバル非製造業 PMI(52.4→52.5)は 5 か月連続で上昇。内訳を確認すると、先進国(51.8→51.9)、新興国(53.7→53.8)いずれも小幅に上昇した。

これらを合わせたコンポジット PMI は 52.3 と前月(52.1)から 5 か月連続で上昇、5 か月連続で中立水準超えを維持。世界の実質 GDP 成長率は 10~12 月期に+2.72%(前期比年率)と、前四半期から伸びが減速した(図表 3)。PMI の推移を確認する限り、1~3 月期は伸びが加速した可能性が非常に高い。

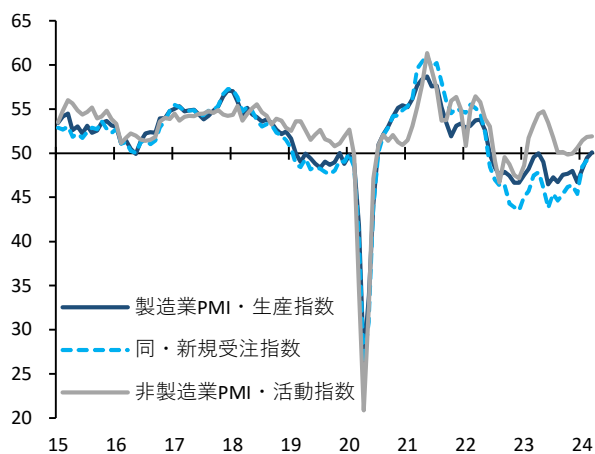
3 月グローバル製造業 PMI の特徴は、やはりデスインフレの継続だろう。仕入れ価格、出荷価格は、3 月に揃って低下、いずれも 4 か月ぶりの低水準となった(図表 4)。ともに中立水準超えとはなっているが、過去の推移と比べれば低水準であり、標準化してもマイナスである。昨年後半から年初にかけては、中東や紅海における地政学リスクの高まりが意識される中で若干強含んだが、足許にかけては落ち着きを取り戻した。短期的には財部門のデスインフレは継続しそうだが、最近では原油価格も再び上昇基調となっており、前年比効果も相まってグローバルで財分野のデスインフレ効果が後退する可能性がある。

製造業 PMI の構成指数別では、生産、新規受注、雇用の 3 項目が PMI の上昇に寄与した。生産指数は、先進国、新興国満遍なく上昇し、3 か月連続で中立水準超えとなった(図表 5)。新規受注は新興国主導で上昇、前月に続き中立水準超え(図表 6)。また、雇用指数も広範に上昇、7 か月ぶりの中立水準超えを記録(図表 7)。一方で、購買品在庫は先進国主導で低下、2 月には 16 か月ぶりに中立水準超えを記録も、再度中立水準を割り込んだ(図表 8)。見通しは改善しているが、在庫取り崩しの流れはなかなか収まっていない。また、入荷遅延指数(逆インデックス)は、2 か月連続で上昇、前月に続き中立水準を超えた。地政学リスクの後退が、財の供給政策緩和に寄与している。

個別の新興国では、タイ製造業 PMI の切り返しに着目したい。3 月には、49.1 と 2 月の 45.3 から大きく上昇、昨年 7 月以来の中立水準超えも射程圏内となった。構成項目を確認すると、新規受注(35.4→47.0)の改善が著しい。依然として中立水準割れは事実だが、新規輸出受注がほぼ横ばいだったことも併せて考えれば、企業は内需回復に期待を寄せていると考えられる。公表元のコメントに目を移しても、昨年 10~12 月期のマイナス成長(前期比)から、1~3 月期にかけてはプラス成長に復帰する可能性が示唆されている。一方で、これはタイ中銀にとっては現状維持長期化の理由になりえるだろう。

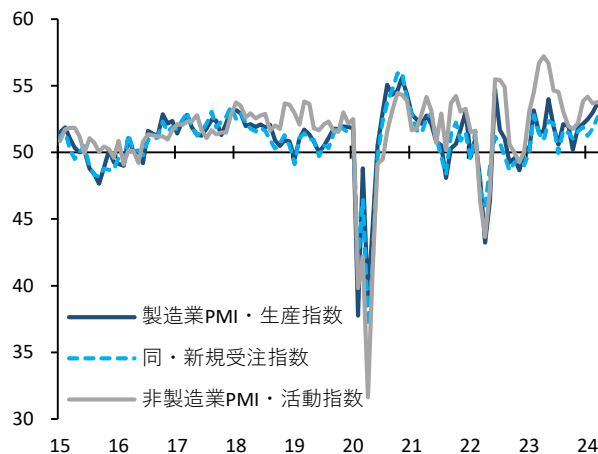
(注)各国・地域別の PMI のグラフについては、本日付の通貨ニュースでご確認いただけます。

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



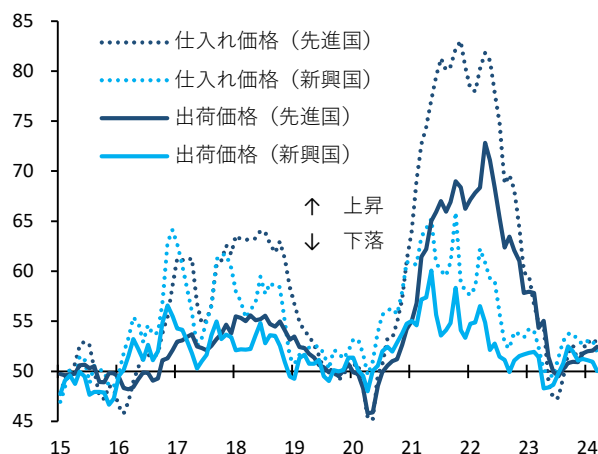
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



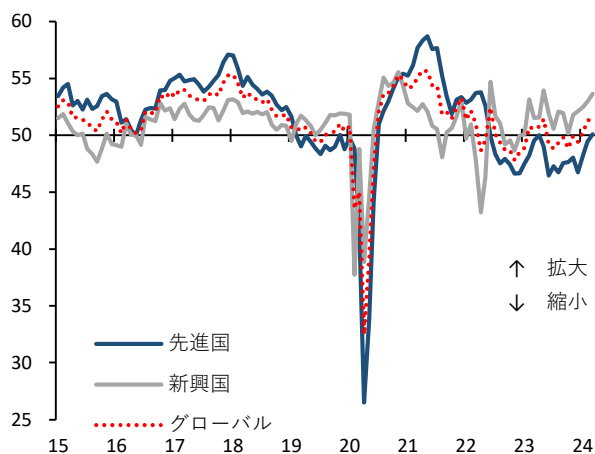
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・価格指数



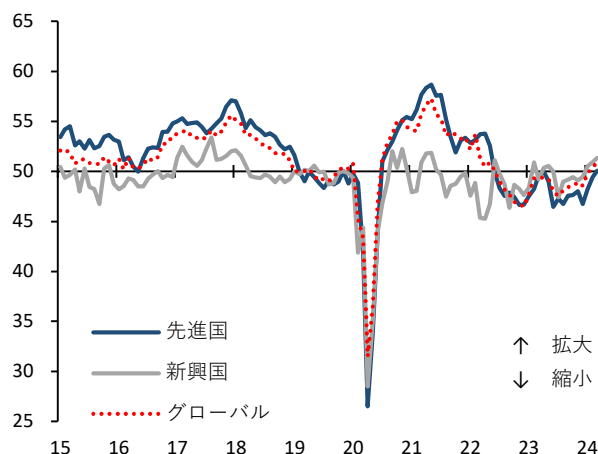
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・生産指数



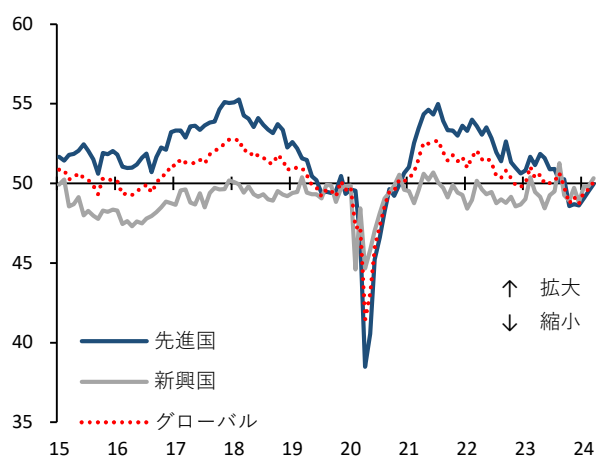
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 製造業 PMI・新規受注指数



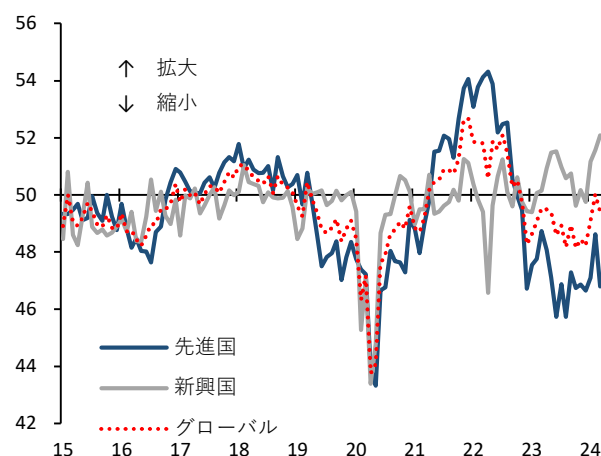
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 製造業 PMI・雇用指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

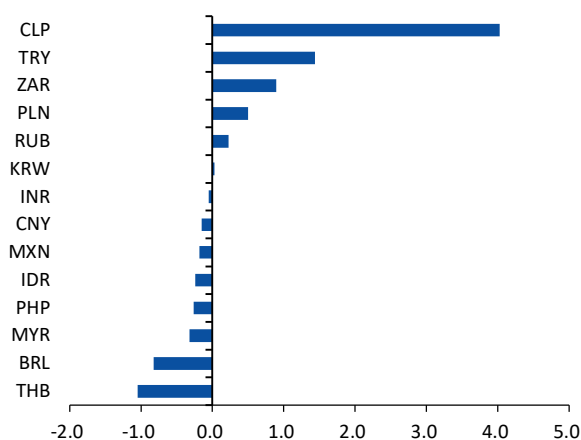
図表 8: 製造業 PMI・購買品在庫指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

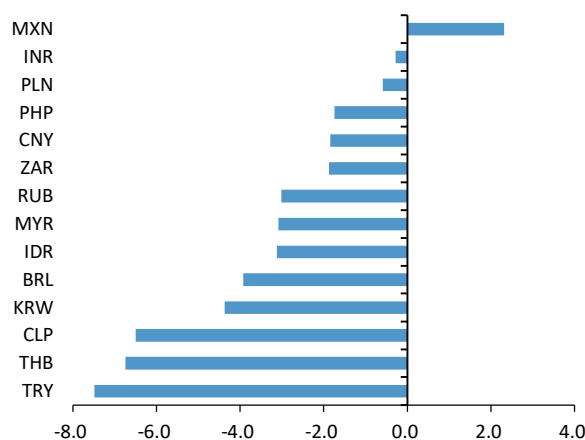
資産別騰落率

為替週間騰落率(対ドル、%)



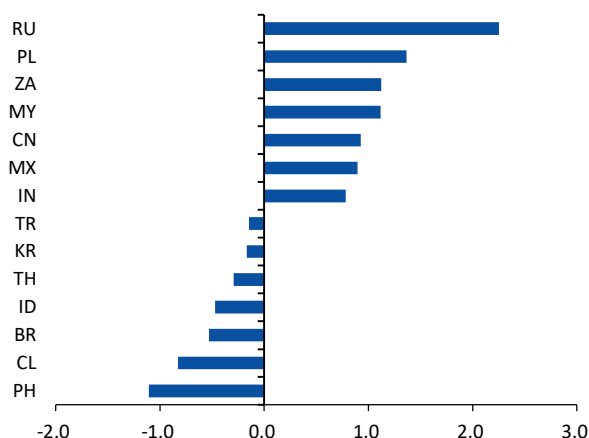
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

為替年初来騰落率(対ドル、%)



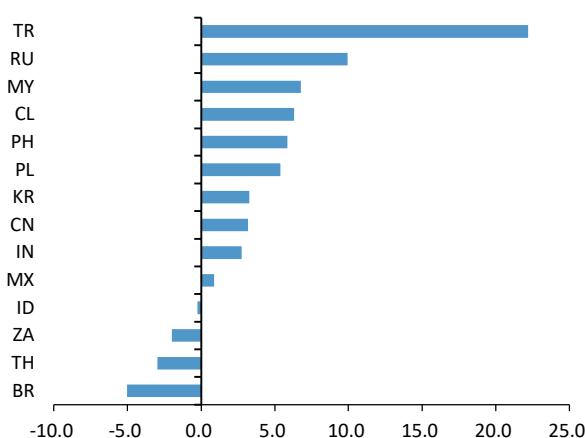
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価週間騰落率(%)



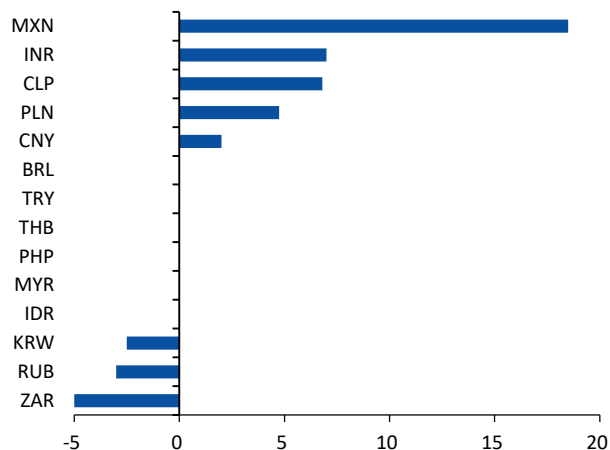
出所: ブルームバーク、みずほ銀行

株価年初来騰落率(%)



出所: ブルームバーク、みずほ銀行

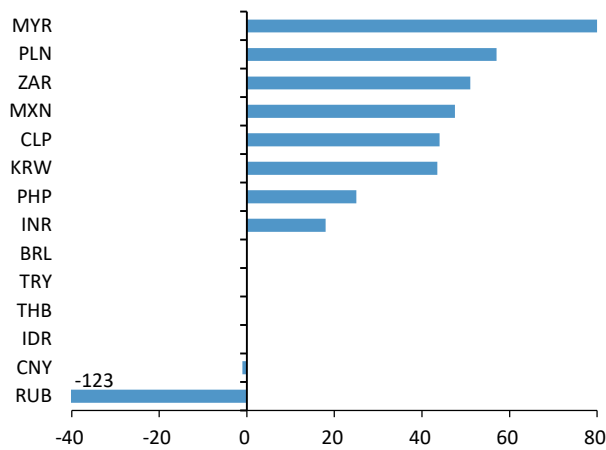
5 年物スワップレート週間変化(bp)



注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

5 年物スワップレート年初来変化(bp)

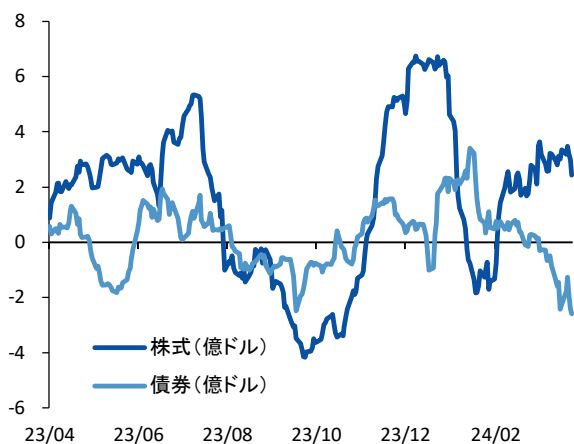


注: データの都合によりタイ、ブラジルの値は未掲載。

出所: ブルームバーク、みずほ銀行

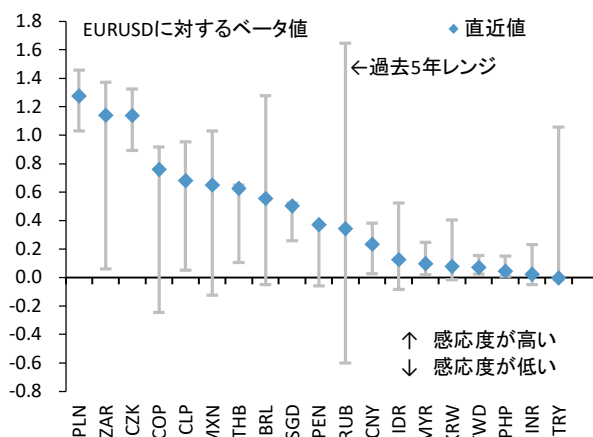
チャート集

主要新興国への証券投資(4 週間移動平均)



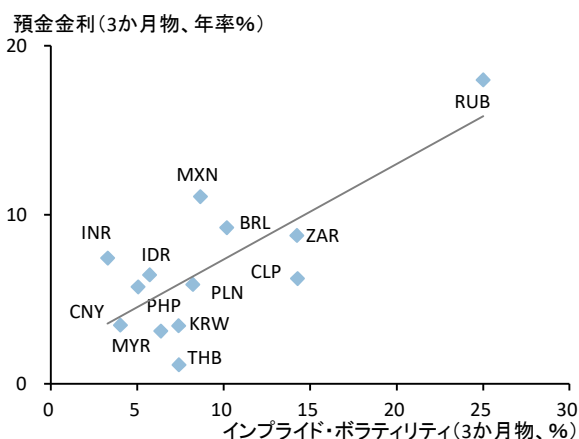
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

EM 通貨(対ドル)の EURUSD に対する感応度(過去 12 か月)



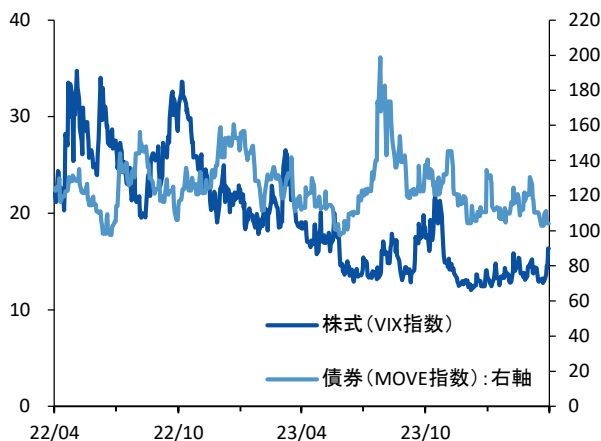
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国の預金金利と為替ボラティリティ



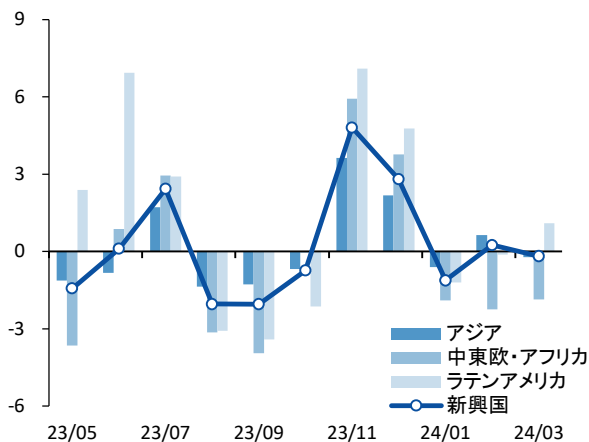
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

株式と債券のボラティリティ(VIX 指数、MOVE 指数)



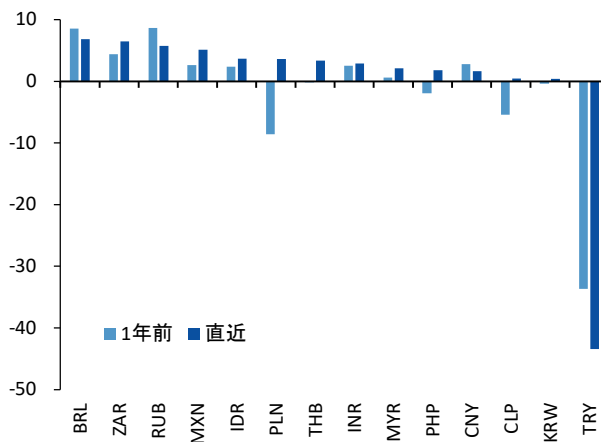
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国現地通貨建て国債月次パフォーマンス(%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

実質金利(10 年物国債金利 - 消費者物価上昇率、%)



出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

新興国経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
4月1日 (月)	韓国	貿易収支	\$4800m	\$4280m	\$4290m	--
1日 (月)	中国	Caixin中国製造業PMI	51.0	51.1	50.9	--
1日 (月)	インドネシア	CPI(前年比)	2.9%	3.1%	2.8%	--
1日 (月)	フィリピン	財政収支(フィリピンペソ)	--	164.7b	88.0b	--
2日 (火)	韓国	CPI(前年比)	3.0%	3.1%	3.1%	--
2日 (火)	シンガポール	購買部景気指数	--	50.7	50.6	--
3日 (水)	中国	Caixin中国PMIサービス業	52.7	52.7	52.5	--
5日 (金)	韓国	国際収支:経常収支	--	--	\$3045.7m	--
5日 (金)	フィリピン	CPI YoY 2018=100	3.8%	--	3.4%	--
5日 (金)	タイ	CPI(前年比)	-0.4%	--	-0.8%	--
5日 (金)	インド	RBI政策金利	6.5%	--	6.5%	--
5日 (金)	シンガポール	小売売上高(前年比)	1.7%	--	1.3%	--
8日 (月)	マレーシア	鉱工業生産(前年比)	--	--	4.3%	--
8日 (月)	フィリピン	BSP翌日物借入金利	6.50%	--	6.50%	--
8-12日	シンガポール	GDP(前年比)	--	--	2.2%	--
9日 (火)	台湾	CPI(前年比)	--	--	3.1%	--
10日 (水)	タイ	タイ中央銀行指標金利	--	--	2.5%	--
10日 (水)	台湾	貿易収支	--	--	\$7.89b	--
11日 (木)	フィリピン	貿易収支	--	--	-\$4221m	--
11日 (木)	中国	PPI(前年比)	--	--	-2.7%	--
11日 (木)	中国	CPI(前年比)	--	--	0.7%	--
12日 (金)	インド	鉱工業生産(前年比)	--	--	3.8%	--
12日 (金)	インド	CPI(前年比)	--	--	5.1%	--
12日 (金)	韓国	BOK Base Rate	--	--	3.50%	--
12日 (金)	中国	貿易収支	--	--	\$39.71b	--
中東欧・アフリカ						
4月3日 (水)	トルコ	CPI(前年比)	69.1%	68.5%	67.1%	--
3日 (水)	トルコ	PPI 前年比	--	51.5%	47.3%	--
4日 (木)	ロシア	実質小売売上高(前年比)	9.0%	12.3%	9.1%	--
6日 (土)	ロシア	GDP(前年比)	5.3%	--	5.5%	--
8日 (月)	トルコ	鉱工業生産(前年比)	--	--	1.1%	--
9日 (火)	南ア	製造業生産(季調前/前年比)	--	--	2.6%	--
11日 (木)	ロシア	CPI(前年比)	--	--	7.7%	--
11日 (木)	ロシア	経常収支	--	--	11500m	--
ラテンアメリカ						
4月2日 (火)	メキシコ	送金総額	\$4550.0m	\$4510.1	\$4574.6m	--
3日 (水)	ブラジル	鉱工業生産(前年比)	5.6%	5.0%	3.6%	3.7%
3日 (水)	メキシコ	総設備投資(季調前、前年比)	18.0%	15.3%	13.4%	--
4日 (木)	ブラジル	経常収支	-\$3500m	-\$4373m	-\$5068m	--
5日 (金)	ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	-0.4%	--	-0.4%	--
5日 (金)	ブラジル	純債務対GDP比	60.1%	--	60.0%	--
9日 (火)	メキシコ	CPI(前年比)	--	--	4.4%	--
10日 (水)	ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	--	--	4.5%	--
11日 (木)	ブラジル	小売売上高(前年比)	--	--	4.1%	--
11日 (木)	メキシコ	鉱工業生産(季調前/前年比)	--	--	2.9%	--

注: 2024 年 4 月 5 日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

為替相場見通し

		2024年 1～3月（実績）	SPOT	2024年 6月	9月	12月	2025年 3月	6月
対ドル								
エマー・ジングアジア								
中国人民元	(CNY)	7.1040 ～ 7.2308	7.2332	7.15	7.15	7.10	7.05	7.00
香港ドル	(HKD)	7.8048 ～ 7.8298	7.8287	7.80	7.79	7.78	7.77	7.78
インドルピー	(INR)	82.649 ～ 83.451	83.445	84.5	82.8	84.0	82.2	80.9
インドネシアルピア	(IDR)	15426 ～ 15888	15893	15950	15600	15900	15400	15200
韓国ウォン	(KRW)	1290.39 ～ 1352.88	1346.84	1320	1300	1290	1280	1270
マレーシアリング	(MYR)	4.5892 ～ 4.8053	4.7402	4.79	4.62	4.76	4.58	4.43
フィリピンペソ	(PHP)	55.300 ～ 56.559	56.390	56.5	55.6	56.8	55.2	54.6
シンガポールドル	(SGD)	1.3193 ～ 1.3525	1.3484	1.37	1.35	1.37	1.34	1.33
台湾ドル	(TWD)	30.518 ～ 32.031	32.050	31.5	31.0	30.0	29.6	29.2
タイバーツ	(THB)	34.11 ～ 36.55	36.72	35.8	34.8	36.2	35.0	34.2
ベトナムドン	(VND)	24260 ～ 24810	24946	24800	24580	24830	24400	24400
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	87.4000 ～ 95.4670	92.2500	93.0	94.0	95.0	96.0	97.0
南アフリカランド	(ZAR)	18.2639 ～ 19.3899	18.7188	19.1	19.2	19.3	19.4	19.5
トルコリラ	(TRY)	29.6646 ～ 32.6046	31.9714	32.0	31.5	31.0	30.5	30.0
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	4.8317 ～ 5.0544	5.0553	5.07	5.05	5.02	5.00	5.02
メキシコペソ	(MXN)	16.5120 ～ 17.3860	16.5870	17.2	17.4	17.5	17.7	18.0
対円								
エマー・ジングアジア								
中国人民元	(CNY)	19.830 ～ 21.087	20.900	20.98	20.70	21.27	21.56	21.86
香港ドル	(HKD)	18.032 ～ 19.418	19.319	19.23	19.00	19.41	19.56	19.67
インドルピー	(INR)	1.695 ～ 1.826	1.812	1.78	1.79	1.80	1.85	1.89
インドネシアルピア	(100IDR)	0.913 ～ 0.969	0.951	0.940	0.949	0.950	0.987	1.007
韓国ウォン	(100KRW)	10.820 ～ 11.474	11.230	11.36	11.38	11.71	11.88	12.05
マレーシアリング	(MYR)	30.593 ～ 32.131	32.012	31.32	32.03	31.72	33.19	34.54
フィリピンペソ	(PHP)	2.541 ～ 2.708	2.690	2.65	2.66	2.66	2.75	2.80
シンガポールドル	(SGD)	106.65 ～ 113.05	112.16	109.89	109.96	110.62	113.86	115.04
台湾ドル	(TWD)	4.576 ～ 4.809	4.733	4.76	4.77	5.03	5.14	5.24
タイバーツ	(THB)	4.096 ～ 4.212	4.118	4.19	4.25	4.17	4.34	4.47
ベトナムドン	(10000VND)	0.5807 ～ 0.6175	0.6079	0.60	0.60	0.61	0.62	0.63
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.552 ～ 1.689	1.640	1.61	1.57	1.59	1.58	1.58
南アフリカランド	(ZAR)	7.588 ～ 8.094	8.080	7.85	7.71	7.82	7.84	7.85
トルコリラ	(TRY)	4.538 ～ 4.945	4.717	4.69	4.70	4.87	4.98	5.10
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	28.829 ～ 30.567	29.920	29.59	29.31	30.08	30.40	30.48
メキシコペソ	(MXN)	8.297 ～ 9.161	9.120	8.72	8.51	8.63	8.59	8.50

注: 1. 実績の欄は 2024 年 3 月 31 日まで。SPOT は 4 月 5 日の 7 時 15 分頃。

2. 実績値はブルームバーグの値。

3. 予想の欄は四半期末の予想。

出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。